

2016 日本ウズベキスタン・シルクロード財団国際交流活動 10 周年 事業
日本ウズベキスタン・シルクロード財団主催、立正大学共催
文化学術シンポジウムを開催
「研究発表」(各 20 分)とパネルディスカッション

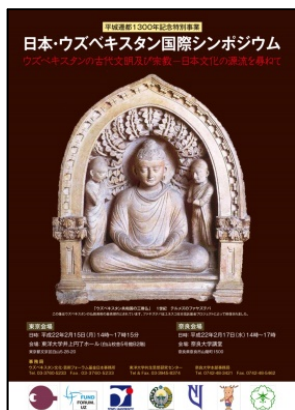
一般財団法人日本ウズベキスタン・シルクロード財団は立正大学の共催にて、2016 年 10 月 29 日(土)13 時～17 時 30 分(受付開始 12 時 30 分)に、立正大学 石橋湛山記念講堂(品川区大崎)にて、シルクロード東京 文化学術シンポジウム<2016 年秋 東京>「新シルクロード・ディスカバリー」ーウズベキスタンと日本の古代文化の接点を探るーを開催します。斯界で活躍する方々 7 名が、それぞれ 20 分間の「研究発表」(日本語)を行います。その後「トランスオキシアナおよび周辺地域における仏教の諸相」をテーマにパネルディスカッションを行います。会場は 600 名収容、事前の申し込みは不要で入場無料です。

今回の文化学術シンポジウムは、2016 日本ウズベキスタン・シルクロード財団国際交流活動 10 周年事業のひとつとして、また、2010 年 2 月の平城遷都 1300 年記念特別事業日本・ウズベキスタン国際シンポジウム「ウズベキスタンの古代文明及び宗教-日本文化の源流を尋ねて」のテーマを継承し、さらに 2015 年の安倍総理大臣のウズベキスタン共和国訪問時の両国の共同声明の中で、「シルクロード世界遺産支援事業を含むウズベキスタン共和国の文化遺産の保護や古代仏教遺跡の発掘調査における二国間の成果への満足が表明されたこと」のフォローアップへの支援として開催されます。古代ウズベキスタンや古代日本に関する研究の一端に触れることで、中央アジアと日本の関係や、日本文化の成り立ち、またシルクロードの全体像をとらえる見方を知る良い機会です。

ウズベキスタン仏教遺跡の発掘調査は 1998 年以降、テルメズ郊外カラテパで加藤九祚氏(国立民族学博物館名誉教授、ウズベキスタン政府より「ドストリク」(友好)勲章、テルメズ市より「名誉市民」章を受ける)とウズベキスタン科学アカデミー考古学研究所との共同で進められてきました。

主催者の一般財団法人日本ウズベキスタン・シルクロード財団は、日本とウズベキスタンとのシルクロードを通じた長い歴史的関係を活かしながら、スポーツを含む文化、芸術、学術、教育、科学技術および観光振興、国際交流・経済対話促進の活動を行っています。

共催者の立正大学は、ウズベキスタン共和国内にある古代仏教遺跡の発掘調査に取り組んでおり、さらに立正大学とテルメズ考古博物館との間ではズルマラ仏塔保存に関する合意書が 2015 年に署名されています。



ウズベキスタン テルメズでの発掘風景

地球地図:NASA World Wind 高度約 1 万 km
©日本ウズベキスタン・シルクロード財団

2010 年 2 月開催
平城遷都 1300 年記念特別事業
日本・ウズベキスタン国際シンポジウム
「ウズベキスタンの古代文明及び宗教-日本文化の源流を尋ねて」のチラシ
写真はウズベキスタン共和国の
三尊仏(1世紀) テルメズのファヤズテパ

◆ 1 本財団の目的と事業

(目的) この法人は、文化、芸術、学術、教育、科学技術及び観光の振興並びに国際交流及び経済対話の促進に関する事業を行い、ウズベキスタン共和国及び日本その他諸外国における文化、芸術、学術、教育、科学技術及び観光の振興並びに国際交流及び経済対話を促進し、ウズベキスタン共和国と日本の協力関係の強化及び発展に寄与することを目的とする。
(事業) この法人は、その目的を達成するため、次の事業を行う。 (1) 文化、芸術、学術、教育、科学技術及び観光の振興に関する事業 (2) 国際交流の促進及び経済対話の促進に関する事業 (3) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

◆ 2 平成 28 年度体制 (各アイウエオ順・敬称略) 2016 年 10 月 12 日現在

名誉顧問	森 喜朗	元首相、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会会長 自民党ウズベキスタン議員連盟名誉顧問
------	------	---

◆ 評議員 10 名

役 職	氏 名	(現職、経歴)
評議員長(会長)	海老沢 勝二	元NHK会長
評議員	奥島 孝康	早稲田大学名誉教授
評議員	玄葉 光一郎	民進党ウズベキスタン議員連盟会長
評議員	佐治 信忠	サントリーホールディングス株式会社代表取締役会長
評議員	關 昭太郎	NPO21 世紀大学経営協会副理事長
評議員	中山 恭子	元駐ウズベキスタン共和国特命全権大使、参議院議員
評議員	二階 俊博	自民党総務会長
評議員	日枝 久	株式会社フジ・メディア・ホールディングス代表取締役会長
評議員	松浦 晃一郎	前ユネスコ事務局長
評議員	渡部 恒三	民進党ウズベキスタン議員連盟名誉顧問

◆ 役員: 理事 9 名・監事 2 名

役 職	氏 名	常勤・非常勤別	(現職、経歴)
代表理事	パヒリディノフ・マンスール	常勤	
理事	荻野 隆義	非常勤	国産自動車交通株式会社代表取締役社長
理事	神山 欣也	非常勤	海光電業株式会社代表取締役社長
理事	関山 護	非常勤	丸紅株式会社顧問、元日本ウズベキスタン経済委員会会長
理事	田波 耕治	非常勤	三菱東京 UFJ 銀行顧問、元大蔵事務次官、元国際協力銀行総裁
理事	松島 正之	非常勤	インテグラル株式会社常勤顧問、元日本銀行理事
理事	松本 謙一	非常勤	サクラグローバルホールディング株式会社代表取締役会長
理事	宮本 洋一	非常勤	清水建設株式会社代表取締役会長
理事	安富 正文	非常勤	東京地下鉄株式会社代表取締役会長、元国土交通事務次官
監事	林 和雄	非常勤	税理士
監事	本間 通義	非常勤	弁護士

◆ 賛助会員: 法人賛助会員 47 社 個人賛助会員 41 名 合計 88 名 2016 年 10 月 12 日現在(手続き中含む)

新シルクロード・ディスカバリー —ウズベキスタンと日本の古代文化の接点を探る—



「ウズベキスタン共和国の三尊仏」1世紀 テルメズのファヤズテバ
この像はウズベキスタンの仏教美術の最高傑作とされています。ファヤズテバはユネスコ日本信託基金プロジェクトによって修復されました。

2016年10月29日(土) 13:00～17:30 (受付 12:30～)
立正大学 石橋湛山記念講堂 600席 東京都品川区大崎4-2-16

東急池上線 大崎広小路駅 (徒歩1分)、山手線 大崎駅 西口 (徒歩5分)、山手線 五反田駅 西口 (徒歩5分)
詳しくは立正大学のホームページをご覧ください。お車でのご来場はご遠慮ください。
参加について：当日会場にて受付を行います。満席の場合は入場をお断りする場合がございますので、予めご了承ください。

「文化学術トーク」 **ひとり20分間の**
研究発表

熱く語る?!
日本語

池上 悟 立正大学文学部 教授・副学長
吉田 豊 京都大学文学研究科 教授
松田 和信 佛教大学仏教学部 教授
臺信 祐爾 九州国立博物館学芸部 特任研究員
バヒリディノフ・マンスール 法学研究者
青木 健 慶應義塾大学言語文化研究所 兼任所員
菅谷 文則 奈良県立橿原考古学研究所 所長

今回の文化学術シンポジウムは、日本ウズベキスタン・シルクロード財団の「国際交流活動10周年事業」のひとつでシルクロードを通じた日本ウズベキスタンの国際交流の歴史を取り上げる機会です。主催者の一般財団法人日本ウズベキスタン・シルクロード財団は、日本とウズベキスタンとのシルクロードを通じた長い歴史的な関係を活かしながら、スポーツを含む文化、芸術、学術、教育、科学技術および観光振興、国際交流・経済対話促進の活動を行っています。共催者の立正大学は、ウズベキスタン共和国における古代仏教遺跡の発掘調査と研究を行っており、また立正大学とテルメズ考古博物館との間では平成27年度にズルマラ仏塔保存に関する合意書が署名されています。

◇主催：一般財団法人日本ウズベキスタン・シルクロード財団 ◇共催：立正大学 ◇後援：外務省、品川区教育委員会

お問い合わせ：日本ウズベキスタン・シルクロード財団（会員センター）TEL:03-5901-9563 又は 立正大学 研究推進・地域連携課 TEL:03-3492-8152

シルクロード東京 文化学術シンポジウム

＜2016年秋 東京＞

参加費無料
(当日受付)

開催日時	2016年 平成28年 10月29日(土)13:00～17:30 (受付12:30～)
会場	立正大学 石橋湛山記念講堂 (〒141-8602 東京都品川区大崎4-2-16) 600席

◆主催:一般財団法人日本ウズベキスタン・シルクロード財団 ◆共催:立正大学 ◆後援:外務省、品川区教育委員会

テーマ 「新シルクロード・ディスカバリー」 —ウズベキスタンと日本の古代文化の接点を探る—

◎ 司会 秋沢 淳子 (TBSアナウンサー)

◆開会 13:00-13:40

- 1 開会 海老沢 勝二 日本ウズベキスタン・シルクロード財団 評議員長会長(元NHK会長)
- 2 ご挨拶 齊藤 昇 立正大学 学長

3 ウズベキスタンにおける仏教遺跡発掘の概況について

◆研究発表 13:40-16:30 ※ひとり20分間の研究発表 <日本語>

第1部(13:40-15:10)

	発表者	所属・職業等	タイトル(予定)
1-1	池上 悟	立正大学文学部 教授・副学長	立正大学によるカラテペ遺跡の調査
1-2	吉田 豊	京都大学文学研究科 教授	三蔵法師玄奘とウズベク
1-3	松田 和信	佛教大学仏教学部 教授	バーミヤーン渓谷からノルウェーへ—アフガニスタンの仏教写本—
1-4	基信 祐爾	九州国立博物館学芸部 特任研究員	西域(中国新疆ウイグル自治区)の仏教美術

第2部(15:20-16:30)

	発表者	所属・職業等	タイトル(予定)
2-1	バヒリディノフ・マンスール	法学研究者(慶應義塾大学大学院法学研究科博士課程単位取得退学)	ウズベキスタンの古代国家の形成と条約関係
2-2	青木 健	慶應義塾大学言語文化研究所 兼任所員	サーサーン朝期のゾロアスター教思想
2-3	菅谷 文則	奈良県立橿原考古学研究所 所長	シルクロードを支えたソグドと古代奈良

◆パネルディスカッション 16:40-17:20 <日本語>

討論テーマ トランスオキシアナおよび周辺地域における仏教の諸相

ファシリテーター 立正大学仏教学部教授 安田治樹

◆閉会 17:25-17:30

- 1 閉会 古河 良皓 学校法人立正大学学園 理事長

ご注意:掲載の情報は2016年9月12日現在のものです。シンポジウムの内容は予告なく変更される場合がありますのでご了解ください。

マナーの遵守:聴講者としての一般的マナー遵守をお願い致します。ご入場について:会場が満席となった場合は、ご入場をお断りすることがありますので、予めご了解ください。

日本ウズベキスタン・シルクロード財団 国際交流活動10周年事業協賛企業
プラチナ協賛 サクラグローバルホールディング株式会社
シルバー協賛 海光電業株式会社、春日商事株式会社 鎌倉大仏殿 高德院、有限会社サン・スライブ
ブロンズ協賛 日本たばこ産業株式会社 東川町東アジア地域交流促進協議会 株式会社ラフォーレ
2016/09/12現在

一般財団法人日本ウズベキスタン・シルクロード財団

www.uzf.or.jp

〒108-6028 東京都港区港南2-15-1

品川インターシティA棟28階

TEL 03-6717-2829 FAX 03-6717-2880

THE JAPAN UZBEKISTAN
Silk Road
FOUNDATION

「モラリスト×エキスパート」を育む。

立正大学
RISSHO University

品川キャンパス

〒141-8602 東京都品川区大崎4-2-16 TEL:03-3492-2681

http://www.ris.ac.jp